

奈良女家政

扇田 信

足達富士夫

○町田 玲子

黒河 明子

大智 信子

南雲 道子

1. 共同住宅居住者の増加につれて、一戸建居住の場合とは異なる生活形態が普及している。とくに共同管理は、共同住宅居住に欠かせないものであり、共同住宅での生活に適応した管理体制が、今後ますます要求される。本研究は、共同管理の現状での問題点を指摘し、それらについての居住者側の態度を知ると共に、今後の生活に密着した管理体制確立への一資料とする事を目的とする。

2. 共同住宅の管理方式について各供給主体と、2, 3の団地を事例的に聞き取り調査を行なった。又、公団では、香里団地内の分譲と賃貸の、大阪市住宅供給公社では、京橋コーポ分譲住宅の、計400戸をアンケート用紙配布による調査を行なった。その内容は、共用部分の清掃、整備、現行の管理制度全般について、自治会と管理、所有意識等である。

3. 分譲共同住宅の場合、各自私有の土地でありながら共用しているが、建物囲りの土地を“我家のものと思う。”と答える者は、非常に少ない。このような土地の使い方の中で、駐車場問題が共通してある。又、管理運営方法面では、賃貸、分譲共、1)管理面の仕事内容の負担のしかた、2)自治会の管理への介入、3)管理人の勤務時間など、について問題になっている。